

事業所名

放課後等デイサービスほたる

支援プログラム

作成日

6年

9月

21日

法人（事業所）理念		一、利用者の自由意思を尊重し、尊厳やプライドが守られるよう配慮する。（身体拘束の禁止） 一、利用者の生活の安全と充実を図る。 一、楽しく安心して暮らせる家庭的な環境を提供する。						
支援方針		・事業所の従業者は、障害児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 ・事業の実施に当たっては、都道府県、関係市町村、障害福祉サービスを行う者、児童福祉施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。 ・前3項のほか、児童福祉法（昭和22年法律第164号。以下「法」という）及び指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成24年宮城県条例第93号）並びに指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例施行規則（平成25年宮城県規則第45号）のほか関係法令を遵守し、事業を実施するものとする。						
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握（毎日体温測定・気分把握）・クッキングや、おやつ時に手洗いや手指消毒、テーブル消毒に取り組む ・個々の合わせた排泄トレーニング・衣服の着脱（外遊びや水遊び時に着替えに取り組む）						
	運動・感覚	・着座での姿勢保持（始まりの会、帰りの会、おやつ時等）・バランスボール、トランポリン等を使って姿勢保持 ・掴む、支える、滑る等の要素を取り入れた固定有部遊び・ラジオ体操等により体力をつける運動 ・ダンス等、音楽に合わせて体を動かす運動・外遊びや水遊びで身体の感覚を養う						
	認知・行動	・日付、天気、利用人数を絵カードや写真、色磁石などを使用し感覚、数の認知形成 ・一日の時間帯別の活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成・外出や制作による季節の変化への興味などの感性形成 ・ブロック遊びやパズルゲームによる空間把握などの認知形成・小集団でのゲームを行いルールの理解と適切な行動形成						
	言語 コミュニケーション	・始まりの会での進行当番を行うことでの言語表出、受容 ・帰りの会での振り返りを行い発言する機会を設ける事での言語表出、受容 ・本の読み聞かせを行い言葉の理解を促す						
	人間関係 社会性	・集団活動を行う事で役割やルールを理解する・地域の行事に参加する事や地域施設への見学の機会を設ける ・イベント参加を通して地域の方々との交流をはかる						
家族支援		・ご家族同士の交流機会の提供 ・ご家族のレスパイトの時間確保による預かりニーズに対応 ・ご家族の子育てに関するこまごとの援助			移行支援		・移行先について、ご家庭や学校と情報の共有を図る ・支援内容について、ご家庭や学校と共有を図る ・ご家族への情報提供や移行先へ相談援助、見学調整を行う	
地域支援・地域連携		・地域住民との合同での行事開催等を通して地域交流 ・中高生の職場体験、ボランティア・見学希望者を受入 ・消防署見学など地域の公共施設を利用する事で地域の人との交流や福祉施設			職員の質の向上		・各種委員会を開催（環境美化委員会、個人情報保護委員会、企画広報委員会、事故発生防止委員会、身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、感染症予防委員会） ・ケア会議、内部、外部研修を通して利用者の生活の向上や職員の質の向上を図る	
主な行事等		お花見、母の日、歓迎会、合同運動会、七夕会、親子交流会、清涼祭、海遊び、合同合宿、敬老会、ハロウィン、りんご狩り クリスマス会、新年会、初詣、節分、外食外出、ひな祭り、卒業を祝う会、消防署見学、車輛基地見学、空港見学						